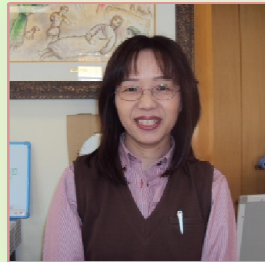


部門紹介

東濃デイ脳リハビリセンター

管理責任者 水野ひとみ



東濃デイ脳リハビリセンター管理責任者水野ひとみです。

昨年4月より医療法人ブレイン土岐内科クリニック脳リハビリセンターから、株式会社ザイタック『東濃デイ脳リハビリセンター』の仲間入りをし、早くも1年が経ちました。それまでスタッフは私服で業務を遂行してまいりましたが、この4月からは東館、西館と同じユニフォームを身にまとい、心機一転、日々の業務を邁進いたしております。

先日、私は株式会社ザイタックの主催する勉強会にて、『学習療法とその効果』という題材でお話をさせていただく機会をいただきました。学習療法のことをもっと多くの方に知っていただきたい、学習療法を行うと、どんな効果があるのかを知っていただきたい。という気持ちが強くこれはチャンス！だと思いました。と言いますのも、当脳リハビリセンターのお客様84名中、認知機能向上又は維持されていらっしゃる方は66名、実に81・4%にも上り、この事実を多くの方々にお伝えしたかったからです。私たちは確かなものを提供させていただいていることを確信し、喜び更には、励みとなりました。

学習療法のポイントは、その方その方に合った教材を用いること、簡単な計算、音読を毎日の生活の中に取り入れること、継続することが大切です。今現在も多くのお客様が楽しく『学習療法』を行い、認知機能やコミュニケーション機能、身辺自立機能などに携わる脳の前頭前野機能の維持・改善に尽力されてみえます。

東濃デイ脳リハビリセンターはお客様の笑顔に支えられ、これからも『貢献・感謝・信頼』されるデイサービスを目指し精進してまいります。

今後とも宜しくお願い申し上げます。



「学習療法とその効果」 ザイタック勉強会

くもん学習療法センター空閑氏と東濃デイ脳リハビリセンター水野さんを講師に、「人間の脳の不思議」「脳の活性化のコツ」などを学び、参加者の方と実際に学習に取り組みました。また、日常生活のすべてにおいて、見守り・介助が必要であった方が、学習療法により、時計を見て時間を正確に把握される、孫の塾の時間に早くいようせかす。など生活の中で変化が見られた実際の症例を紹介して頂きました。

「認知症について」 土岐市教育委員会

花の木大学全体学習において、長谷川理事長が講演されました。何を食べたか忘れてしまうのは「物忘れ」であり、食べた事そのものを忘れてしまうのが「認知症」である。原因には色々あり、アポタンパクEフェノタイプという遺伝子により起こるものもある。また、認知症はどこまで在宅介護が可能か。その人の状態における、社会資源・社会サービスについてもお話されました。

「認知症治療薬について」 愛知学院大学薬学部 臨床薬理学講座

臨床薬理学研究室において、長谷川理事長が勉強会を行いました。新たなアルツハイマー型認知症治療薬3品目が発売された。今まで国内に、認知症治療薬は一種類しかなかったため、選択肢が広がる事になる。軽度～中等度のアルツハイマー型認知症の進行抑制に効能をきたすもの、中等度～高度のアルツハイマー型認知症の進行抑制に効果のあるもの。そして中には、パッチ剤(貼付剤)が開発され、服薬してもらう事が難しい患者さんのご家族や介護者の負担軽減につながりそうである。

おすすめしています

イチョウ葉エキス GBE-24Dr

医療法人ブレイングループは、「ずっと我が家で暮らしたい」を応援しています。
人が介護を必要とする理由、それは、動脈硬化による 麻痺 と 認知症 といわれます。
イチョウ葉エキスは血液の流れをスムーズにし、動脈硬化を予防します。
活性酵素を減少させ、癌やアルツハイマーを予防します。イチョウ葉エキスは、私たちが自信を持ってお勧めしている健康補助食品です。



ご注文・お問い合わせ先

TEL 0572-54-1103 FAX 0572-54-1093

〒509-5112

岐阜県土岐市肥田浅野笠神町2-11-1

医療法人ブレイングループ

株式会社ザイタック 担当 小森 / 倉田

ご注文確認後、1週間程度でお届けします。

送料無料 ※90粒(約1ヶ月分) 6,300円

代金引換にてお支払いください。

土岐内科クリニック内でも販売しています。

講演・勉強会のご案内

担 当 者	対象者	日 時	場 所	内 容
理事長 長谷川嘉哉	地域の方	H23.6.8(水) 14:00～15:45	下呂市 金山保健センター	金山町勉強会 「認知症の理解と地域医療とのかわり」
理事長 長谷川嘉哉	一般の方	H23.6.26(日) 10:00～11:30	名古屋市 ウインクあいち 10階	出版記念講演会 「専門医が教える、ちょっと得するお金の話」



http://brain-gr.com

土岐内科クリニック

岐阜県土岐市肥田浅野笠神町2-12

TEL 受付 0572-53-0656

外来リハビリ 0572-53-1107

FAX 受付 0572-53-0658

外来リハビリ 0572-53-0667

株式会社ザイタック

岐阜県土岐市肥田浅野笠神町2-11-1

TEL 0572-54-0201

FAX 0572-54-0378

診察時間のご案内

	月	火	水	木	金	土
9:00 ~ 12:00	●	●	●	●	●	●
13:00 ~ 16:00	訪 問 診 療					
16:30 ~ 18:30	●	●	●	●	●	●

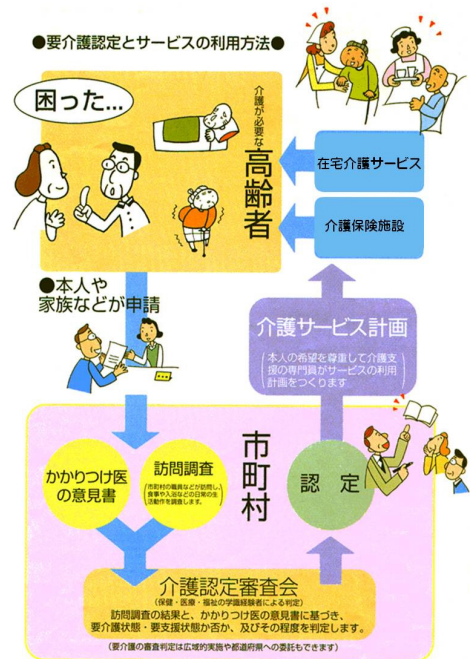
交通のご案内



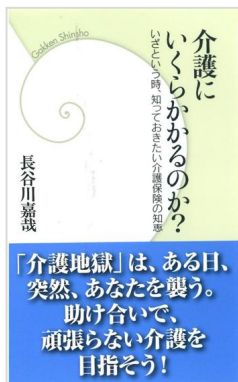
- | | | | |
|---------------------|----------------|------------------|----------------|
| ● 東濃訪問看護ステーション | ☎ 0572-54-0355 | ● 東濃デイサービスセンター松坂 | ☎ 0572-20-1199 |
| ● 東濃介護支援センター | ☎ 0572-54-1171 | ● 東濃デイリハビリセンター | ☎ 0572-54-1196 |
| ● ナーシングデイ | ☎ 0572-54-0355 | ● 東濃デイサービスセンター元町 | ☎ 0572-53-1010 |
| ● 東濃デイ脳リハビリセンター | ☎ 0572-53-1101 | ● 東濃デイサービスセンター滝呂 | ☎ 0572-43-6696 |
| ● 東濃デイサービスセンター東館・西館 | ☎ 0572-54-1103 | | |

東濃介護支援センター 主任ケアマネ
榎本しをみさんに、介護保険制度の使い方を教えて頂きました。

介護保険制度は、市区町村が保険者となって運営しています。40歳以上の皆さんは、加入者(被保険者)となって保険料を納め、介護が必要となった時には、費用の一部を払ってサービスを利用できる仕組みです。サービスの利用を希望する人は、市の介護保険担当窓口にて、本人や家族が申請するか、居宅介護支援事業者などに申請を代行してもらう必要があります。



長谷川嘉哉理事長 第2作目 5月18日発売！



介護にいくらかかるのか—いざというとき知っておきたい介護の知恵

長年、医師として介護生活に直面し、お金にまつわる問題で苦しむご家族を見てきました。
そこで、目の前の患者様に知識や知恵を提供していきたいと、ファイナンシャルプランナーの資格をとりました。はっきりいって、介護は心持だけで済む問題ではなく、「お金」の問題がついてまわります。
この一冊が、皆様の「転ばぬ先の杖」になれば幸いです。

著者 : 長谷川嘉哉
出版社 : 学研教育出版
価格 : 819円(税込)

お問い合わせ先

株式会社ザイタック
TEL 0572-54-0201

お客様の声 ①



これからも元気に利用させていただきます！

現在 当サービスをご利用中の方に意見をいただきました。
貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

東濃デイサービスセンター西館を利用して3年になります。最初は抵抗がありましたが、パワーリハビリを、周りの皆さんが一生懸命やっているの、自分も頑張ろうという気持ちになりました。私自身、スタッフの方に教えてもらいながら、一生懸命やり、多少歩けるようになってきました。ありがたい。職員さんはいい人ばかりで、ここへ来るのが楽しみです。

野久 清子様

お客様の声 ②

体の元気なころは半日の東濃デイリハビリセンターを、体調を崩してからはナースングデイを利用して頂きました。金曜日にはデイサービスに行ける事を大変喜び、おしゃべりする事はなかなか出来ませんでしたが、皆さんの会話や顔が見られて、本人も楽しく良かったと思います。長い間、大変お世話になり、ありがとうございました。

故 肥田清造ご遺族様



ホームドックスケア 介護



理事長 長谷川嘉哉

人はなぜ介護が必要になるのでしょうか？

今回は、介護が必要になる状態を疾患別に説明します。

介護が必要になる状態には、脳血管障害など急に必要となるケースと、認知症や癌などのように徐々に必要になるケースに分けられます。

まず、急に必要になるケースとしては、循環器系の疾患です。循環器系の疾患は心疾患と脳血管障害に分けられます。循環器疾患の特徴は、いずれも突然起こることです。特に心疾患の場合、さっきまで元気であったのに心筋梗塞で突然亡くなってしまうという事はあることです。もちろん、救命されれば、身体的な後遺症を残す事は少ないようです。

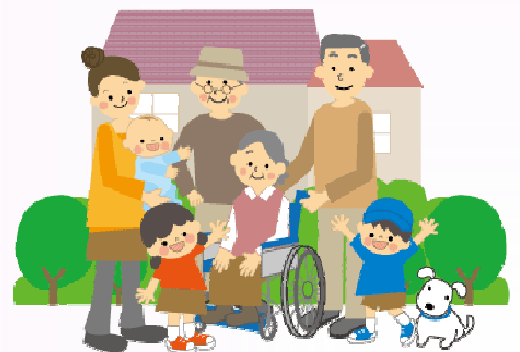
一方、脳出血や脳梗塞などの脳血管障害の場合、片麻痺といった後遺症を残す事が特徴です。この場合、急性期治療を基幹病院で受けたあと、発症から6ヶ月までは慢性期病院でのリハビリが可能です。一般的に、一人でトイレや入浴が可能であるかがポイントとなります。これらが自立していれば、自宅での療養が可能です。しかし自立していない場合は、介護者の有無により入所等も検討する必要があります。

徐々に介護が必要になる場合には、認知症が代表的です。認知症の場合は、物忘れが中心である中核症状に限定されていれば、介護サービスを受ける事で在宅での生活が可能です、しかし、幻覚・妄想・徘徊といった周辺症状が出現し、薬でのコントロールができない場合は、在宅での生活が困難となります。その場合、在宅だけでなく介護施設でも対応が困難なケースがあり、時に精神科病院での対応が必要になる場合があります。

癌の場合は、多くは血管病変に比べゆっくりとした経過をたどりますが、全く健康であったのに突然癌が発見され1-2ヶ月という短期間で亡くなるケースもあります。この場合、病院に受診してすぐに入院となり、退院する事も少なく、介護が必要となる期間は短期間です。

しかし、通常の癌の場合は、基幹病院での治療が不可能となった場合は、疼痛を軽減する緩和ケアが中心となります。この場合、入院より在宅での生活が長くなり、訪問診療、訪問看護、療養型通所介護といったサービスを利用することで在宅介護をサポートします。患者さんの年齢等により対応は異なりますが、自然の経過に任せることが、苦痛の軽減に繋がります。

介護が必要になる状態には、疾患による特徴があります。
特徴を理解した上での介護プラン作成が重要です。



今月のホームドクの一言

— 介護プラン 病気別での マイプラン —